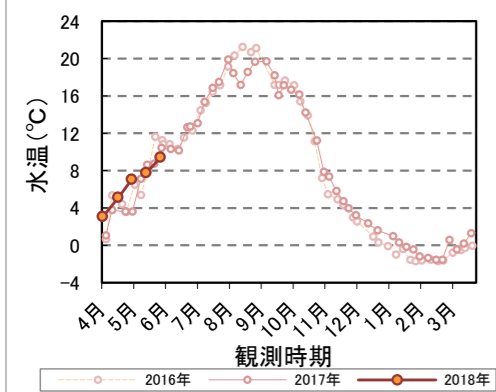


◎オホーツクタワーの動物プランクトン分析速報(2018年5月)

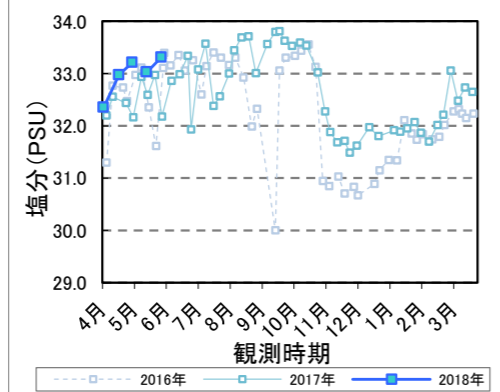
海洋環境データ

※観測：紋別市

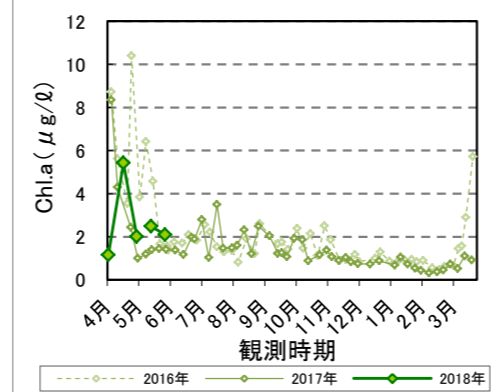
◎水温 (0~9mまでの平均値)



◎塩分 (0~9mまでの平均値)



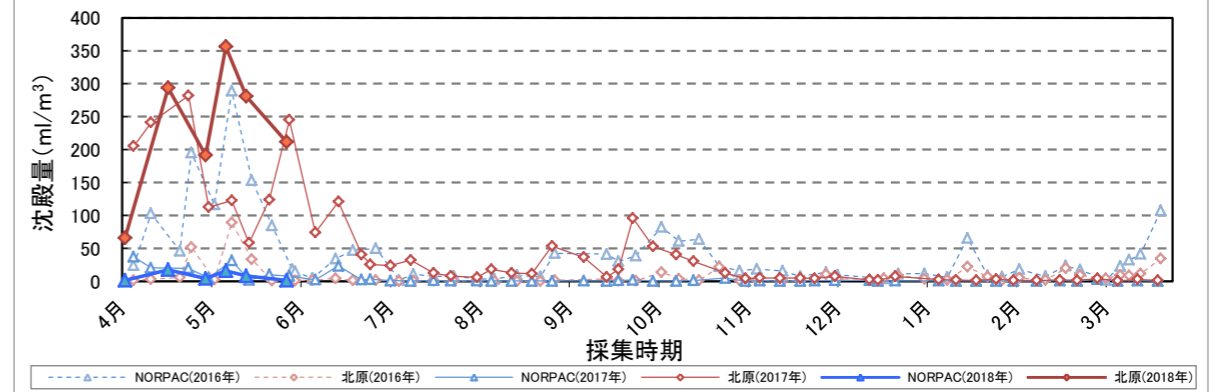
◎Chl. a (0~9mまでの平均値)



動物プランクトンデータ

※分析：(株)エコクス

◎動物プランクトン・沈殿量



概要

Table with 3 columns for dates: 5月7日, 5月14日, 5月28日. Rows include: 平均水温 (°C), 平均塩分 (PSU), 平均Chl.a (µg/L), 沈殿量 (ml/m³) for NORPAC and Beihara methods, 主な出現種 (listing species like Neocalanus, Pseudocalanus, etc.), and 備考 (remarks).

出現量の多かった種類

Grid of 8 images showing zooplankton species with their names and descriptions. Species include Pseudocalanus newmani, Copepoda (nauplius), Tortanus discaudatus, Gastropoda (larva), Oithona atlantica, Pelecypoda (larva), Oithona similis, and Balanomorpha (nauplius).

※種名の先頭に“◎”がつく種類は、出現量の多い種類を示す。[...]内の“+”は分析者の経験から、サンプル中の個体数の多さが後述の程度であると判断し、区分したグループである(+)出現、(++)やや多い、(+++)多い、(++++)かなり多い、(++++)極めて多い)。